



マラッカ

マラッカと
ジョージタウンを歩く
～ Melaka & Georgetown ～

世界文化遺産

ジョージタウン

Jalan
Jalan





マラッカ



ユネスコ世界文化遺産



マラッカってどんなトコ？



1400年頃、スマトラ島・シュリーヴィジャヤ王国の王子であるパラメスワラがマラッカ王国を建国したのがマラッカの始まりです。1405年、明朝の海軍大将であった鄭和（チェンホー）が初寄港。モンスーン（季節風）を利用した東西貿易の中継地として、アラブやインド、東は琉球王国とも交易があり繁栄しましたが、1511年ポルトガル領に。1641年にはオランダ領、1824年にイギリス領、太平洋戦争中は日本軍の占領、終戦後は再びイギリス領と、約600年に渡り様々な国の支配を受けました。現在のマラッカのオールドタウンの町並みはオランダ領時代に形成されたもので、約400年前の町並みをそのまま残しています。また東西貿易と各国の支配により様々な国の影響を受けた独特の文化が継承されています。



ヒーレンストリート



Jalan Tun Tan Cheng Lock
「ヒーレン」とは、オランダ語で「紳士」の意。オランダ人が去った後、財を成したプラナカンが住んでいたため、別名億万長者通りとも呼ばれます。豪華な装飾が施されたショップハウス、彫刻が見事な看板（表札）、美しいタイルが目目を惹きます。オランダ、イギリス、中国の文化が混在した、ユニークな建築を見ることが出来ます。

ジョンカーズストリート



Jalan Hang Jebat
ヒーレンストリートに平行する通りで、オランダ語で「商業」の意味をもつ通り。その名の通り当時も商業を営む通りとして栄えていたようです。現在もその文化は受け継がれ、みやげ屋やレストランなどが建ち並ぶマラッカの繁華街。週末の夕方からは歩行者天国となり夜市が開催されます。

ハーモニーストリート



Jalan Tukang Emas / Jalan Tokong
ジョンカーズストリートに並行する通り。別名の「ハーモニーストリート」との通称は、中国寺院、イスラムのモスク、ヒンドゥーの寺など、様々な宗教の寺院が建ち並ぶことに由来します。かつてこの通りの入口付近は、マラッカへ到着した積み荷の荷下ろし場となっており、船員たちは荷下ろし後、この通りにある各々の神に航海の無事を祈ったと言われていました。



オランダ広場

Dutch Square

1650年にスタダグイスが建設されたのが始まりとされています。キリスト教会や時計塔など、周辺はサーモンピンク色の建造物で統一されていますが、なぜこの色なのかは不明。オランダ占領時代は白でしたが、イギリス植民地時代にこの色に塗り替えられたという説も。とはいえ、オランダ広場のこの色はマラッカのシンボルカラーと言えるでしょう。



セントポールの丘

St. Paul's Hill

マラッカ海峡が見渡せる丘で、セントポール教会跡とザビエル像があります。このザビエル像には右手がありません。中国で殉教した彼の遺体はここで保管された後、インドのゴアで埋葬しましたが、その際に右手だけがローマ法王に届けられました。時同じく、マラッカで落雷があり、この像の右手が粉々に飛び散ったのだそう。本物の右手は現在もローマのジェズ教会に安置されています。



マラッカを歩く

1500年代のポルトガル領時代から、1800年代のイギリス領時代まで、各時代に建てられたさまざまな建築様式を一つの街で見ることができるのは、マラッカならでは。それぞれの時代に思いを馳せながらのんびりと散策を楽しんで。

3 カンポン・クリン・モスク

Kampung Kling Mosque

マラッカのモスクはスマトラ様式と呼ばれ、マラッカ王国初期のデザインをとどめている。1748年建造、バゴタ風のミナレット、プラナカントイル、シャンデリアなど文化の融合がみとれる。



● 17, Jalan Tukang Emas

6 セント・フランシス・ザビエル教会

Church of St. Francis Xavier

フランシスコ・ザビエルを讃えるため、1849年にフランス人宣教師らにより建てられた。ザビエルが日本へ渡るきっかけとなった薩摩出身のヤジロウの像が立っている。



● 12, Jalan Banda Kaba

9 セント・ポール教会

St. Paul's Church

521年にポルトガルによって建てられた教会跡で、内部には棺跡と墓碑が。中国で殉教したザビエルが、死後9ヵ月間安置されたが遺体は腐敗しなかったという。ここからの夕日は格別。



● Jalan Kota, Bandar Hilir

12 独立宣言記念館

Proclamation of Independence Memorial

1912年建設。1956年2月20日、ここで初代首相トウク・アブドゥル・ラーマンが独立声明を読み上げ、翌年8月、マレーシアは独立国家に。現在は独立に関する記録や資料を展示。



● Jalan Parameswara, Bandar Hilir

1 セント・ピーターズ教会

St. Peter's Church

マレーシア最古のローマ・カトリック教会。ポルトガル領時代に創建されたが、オランダ人により破壊され、1710年に再建。鐘楼の鐘は1608年製のインドのゴアから運ばれたもの。



● 166, Jalan Bendahara

4 スリ・ポヤタ・ヴィナヤガール・ムーティ寺院

Sri Poyyatha Vinayaga Moorthi Temple

1781年に建てられた、東南アジア最古のヒンドゥー寺院。ヴィナヤガール（ガネーシャ）と呼ばれる象の頭と人間の身体をもつ。財をもたらず商業と学問の神が祀られている。



● 5-11, Jalan Tukang Emas

7 マラッカ・キリスト教会

Christ Church Melaka

オランダ領時代の1753年に建てられたマレーシア最古のプロテスタント教会。内部の「最後の晩餐」を描いたタイル画は必見。現在は歴史・民族博物館となっている。



● Jalan Gereja, Bandar Hilli

10 マラッカ・スルタン・パレス

Melaka Sultanate Palace / Straits Mosque

15世紀後半のスルタン・マンズール・シャーによって建てられた宮殿を歴史書をもとに1986年に再現した高床式木造建築。内部は文化博物館となっている。



● Jalan Kota, Bandar Hilir
● RM10 (大人) RM5 (子ども)

13 海洋博物館

Maritime Museum

大航海時代に使われたポルトガル船、「フロール・デ・ラ・マール号」のレプリカ。船内には海洋交易の歴史展示が公開されている。船のデッキから見渡すマラッカ海峡もなかなかのもの。



● Jalan Quayside
● 9am-5:30pm (金～日は5:30pm) ● RM10 (大人) RM6 (子ども)

2 青雲亭 (チェン・フーン・テン) 寺院

Chen Hoon Teng Temple

1645年、明の鄭和のマラッカ寄港を讃えて建立。仏教、儒教、道教の神がともに祀られた珍しい中国寺院で、本堂には観音菩薩、その横には航海の女神媽祖が祀られている。



● 25, Jalan Tokong

5 ババ・ニョニヤ・ヘリテージ博物館

Baba Nyonya Heritage Museum

中国系移民の男性と現地の女性との結婚で生まれたプラナカン (ババ・ニョニヤ) の子孫の邸宅。豪華な内装やアンティーク品の数々、贅を尽くした当時の暮らしが伺える。



● 48-50, Jalan Tun Tan Cheng Lock ● 10am-4:15pm (金～日は5:15pmまで) ● RM16 (大人) RM11 (子ども) *英語ガイドツアーは+RM4

8 スタダイス

Stadthuys

1650年に建てられた、現存する東南アジア最大最古のオランダ建築。19世紀半ばからはイギリスが行政庁舎として使用。現在は歴史・民族博物館となっている。



● Jalan Gereja
● 9am-6pm (ラマダン期間中は4:30pmまで)
● RM10 (大人) RM4 (子ども)

11 サンチャゴ砦

Porta de Santiago / A' Famosa

1511年にポルトガルが最初に築いたのがこの砦、通称「エー・ファモサ」。内側には病院や学校、刑務所までもが建てられた。19世紀初期にイギリスによって破壊され、門だけが残っている。



● Jalan Kota, Bandar Hilir

14 マラッカ海峡モスク

Masjid Selat Melaka / Straits Mosque

マラッカ市街中心の南部、マラッカ川の河口につくられた人工島に建つモスク。まるでマラッカ海峡の上に浮かんでいるような美しいモスクで、マレーシアでも有数のサンセット名所にもなっている。



● Taman Pulau Melaka

A マラッカ・タワー ……

Menara Taming Sari Melaka
2008年に建設されたマラッカのランドマーク。全面ガラス張り、66人乗りの円盤型展望台がゆっくりと回転しながら上昇。80mもの高さからマラッカの街やマラッカ海峡が見渡せます。



● Jalan Merdeka, Bandar Hilir
● 10am-11pm (ラマダン期間は10pmまで)
● RM24 (大人) RM16 (12歳以下)

C マミー・ジョンカー・ハウス

Mamee Jonker House
「マミー」とは、1971年マラッカで創業した、インスタントラーメンやスナック菓子を中心とした食品製造会社です。ここでは、カップ麺作り体験や、マミーカフェ、オリジナルグッズの販売も。

● No.26 & 48, Jonker Street ● 10am-5pm (月～木) 10am-7pm (金～日)

D アンコール・ムラカ ……



Encore Melaka
マラッカ海峡に面して2018年に突如現れた大シアター。360°回転する客席をグルッと囲むように設置した240メートルのステージで、大迫力のプロジェクションマッピングと光や水を用いた幻想的な演出で、マラッカ600年の歴史の軌跡を上演。



● 3, Jalan KSB-Impresion City Kota Syahbandar
● 5:30pm / 8:30pm
● RM148 ~ encore-melaka.com
*マラッカ主要ホテルよりシャトルバス運行。

パサー・マラム (夜市)



Pasar Malam
ジョンカー・ストリートの毎週末(金・土・日)は、歩行者天国となり夜市が開催されます。マレーシア国内はもちろん、アジア各国で流行のユニークな食べ物や骨董品、手工芸品、特産品などの屋台がいっぱい! B級グルメの屋台街も出陣します。

● Jonker Street ● 5pm-11:30pm

マラッカを遊ぶ

マラッカと言えばユネスコ世界文化遺産。歴史的建築物を見ながら街を散策するのもいいですが、アトラクションも豊富にあります。マラッカの“現在”も見どころ満載です。

B リバークルーズ ……

Melaka River Cruise

マラッカ川河口に近い「ムラカ・リバー・スクエア」と、マジェスティックホテルに近い「スパイス・ガーデン・ジェティ」の2カ所に乗り場があります。往復約45分間、8kmのクルージングでは、ウォール・アートや古いマレー系集落が残るカンポン・モートン、オオトカゲが生息するマングローブ林、目まぐるしく発展するマラッカの街並みを楽しめます。夜のライトアップもきれいです。



● RM30 (大人) RM25 (子ども)
● 9am-11pm (30分毎発船)

E パングン・バンサワン・ムラカ



Panggung Bangsawan Melaka
1887年に建てられた劇場。60年代には映画館として営業するも、2001年に閉館。2019年6月公開のマラッカの多民族文化の調和と600年の歴史を生き生きと描くミュージカル『ラサ・ムラカ (2020年10月31日まで)』を機に大復活を遂げました。

● 20, Jalan Munshi Abdulla, Kampung Jawa

■ トライショー

Trishaw
マラッカ市内のトライショー(人力三輪車)は、1時間RM50が目安です。昼間は爆音ミュージック、夜は電飾が眩い賑やかさ。マラッカ名物の一つです。



満腹！ マラッカを食べる

ニョニヤ料理編

1405年、海軍大将鄭和が中国から初寄港。艦隊はみな男性。土着した彼らは現地の女性と結婚し家庭をもちました。これがプラナカン（パパ・ニョニヤ）の始まりとされています。各家庭に継承されるレシピはさまざま。同じ料理でも味つけが各々異なるのがおもしろいところ。ここでは代表的なニョニヤ料理をご紹介します。

ニョニヤ・ラクサ



Nyonya Laksa
ココナッツミルクがたっぷりに入ったリッチでマイルドなカレーヌードル。なかには魚介からではなく、ハーブだけでダシを取るものも。

アッサム・プダス



Asam Pedas
酸味の強いアッサム（タマリンドの果汁）とチリ、ナス、オクラ、トマトなどの野菜と共に魚介類をサッと煮込んだもの。

ニョニヤ・クエ



Nyonya Kuih
カラフルでまるで宝石のようなニョニヤ・クエは、パンダンリーフやココナッツミルクが香る、米粉やもち米から作った「ういろう」のようなお菓子。

パイ・ティ



Pie Tee
サクサクの薄いカップ状の器に、甘辛く炊いたヒカマやニンジンの千切りと干しエビを詰めたもの。チリソースをつけていただきます。

アッサム・ブア・クルア



Assam Buah Keluak
インドネシアで採れる希少な実「ブアクルア（Buah Keluak）」はトリュフやナッツのような芳ばしさ。下処理で毒を取り除き、肉類と煮込んだ酸味のあるシチュー。

ポピア



Popiah
千切りしたヒカマを甘く炊いたものを包んだおかずクレープ。具は切り干し大根を炊いたような優しい味わい。

チンチャロ・オムレツ



チンチャロとは小エビの塩辛で調味料として使われる。玉ねぎなどの野菜、卵、チンチャロを混ぜて焼いたオムレツ。

タイ・バック



Tai Bak
米粉から作るカラフルな麺タイ・バックのツルっとした食感、甘いシロップにかき氷。ライムを絞って爽やかに。

アヤム・ポンテ



Ayam Ponteh
じゃがいもと鶏肉または豚肉を煮こんだ、日本の肉じゃがのような家庭的な料理！ 他店との味の違いを楽しんで。

ファモサ・チキン・ライスボール



左手前から時計回りに：チキンライスボール、フィッシュボールスープ、豆腐、BBQ ポーク、チャーシュー、茹で鶏。どれもこれも日本人の口に合うこと請け合いです。

Famosa Chicken Rice Ball

「桃太郎さんのきびだんごか？」と思うように、丸く均一なライスボール。マレーシア名物チキンライスと同様に、鶏ガラスープで炊いたご飯をボール状にしたものがこちら。茹で鶏のほか、甘いチャーシューや皮がクリスピーな BBQ ポークとともに召し上がれ。

● 21, Jalan Hang Jebat
Ⓧ 9am-9pm (月~木) 9am-10pm (金~日)

キャピトル・サテ



豚肉や鶏肉などの肉類、魚介類や野菜など好みの具材を店内奥の冷蔵ショーケースから選び、テーブルの真ん中に設置されたソース鍋に入れて火を通します。濃厚なタレの飛び跳ね注意！

Restaurant Capitol Satay

1936年にダンスホールとしてできた「キャピトル・シアター」は、60年代になると映画館として賑わいました。その映画館の前で販売された屋台料理「サテ・チュルプ」は、串にさした具を、ぐつぐつ煮た甘いピーナッツソースで調理します。週末は行列のできる人気のお店です。

● 41, Lorong Bukit Cina Ⓧ 4pm-12am 月曜定休

満喫！ マラッカを食べる

レストラン編

伝統的なニョニヤ料理以外にも、マラッカを訪れるなら、一度は食べておきたい名物料理をご紹介します。また、古いショップハウスを改装してオープンしたこだわりカフェでのんびり過ごすのもおすすめです。

ザ・マンション



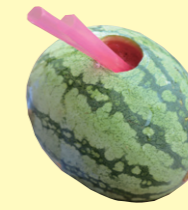
The Mansion

ポルトガル・オランダ領時代、現地の女性と結婚し家庭を築いたユーラシアンを「クリスタン」と呼びます。500年以上もの古い時代から受け継がれるクリスタン料理を味わえる店は今ではほとんどありません。ここではオーセンティックなクリスタン料理や上質なマレーシア料理が堪能できます。

● The Majestic Malacca
188, Jalan Bunga Raya Ⓧ 7am-10:30 (朝食) 12noon-3pm (ランチ) 7pm-11pm (ディナー)

街歩きスイーツ

ジョンカーストリートで食べられる、マラッカならではのB級スイーツがこちら。かわいくって、おいしくって、思わずSNSに投稿したくなっちゃいます！



スイカ丸ごとジュース：穴を開けたスイカにハンドミキサーを入れて攪拌したフレッシュジュース。



パイナップルタルト：ニョニヤ伝統菓子。ほんのり塩気のあるタルトと甘酸っぱいパイナップルの餡がおいしい。



ポルトギース・エッグタルト：ポルトガル伝統のエッグタルト。サクサクのパイ生地と濃厚な卵の焼きプリンのコラボ。



チェンドル：マラッカ名産のバームシュガー（グラマラッカ）が濃厚な黒蜜のような。ココナッツミルクたっぷりのかき氷。

コーヒー・ジャー



The Coffee Jar

自家焙煎したこだわりのコーヒーを提供するカフェは、古いショップハウスを改造し、実直なカップルが切り盛りするアットホームなお店。店内ではカセットテープから懐かしい曲が流れています。街歩きに疲れたらほっと一息。コーヒー好きに、ぜひとも立ち寄って欲しいカフェ。

● 38, Lorong Hang Jebat
Ⓧ 10:30am-6pm 火曜定休

一杯ずつ丁寧に、心を込めて淹れられたアメリカンとカフェラテに癒されます。

イート@18

Eat@18 (Opposite Place)

隠れ家的ゲストハウス「オボジット・プレイス」の1階にあるカフェ。ここではイギリスで修行したパテシエの焼き菓子やパンがとってもおいしい。温かいミルクにチョコの塊を豪快に浸していただくホットチョコプレートも美味。

● 18 Jalan Hang Lekiu
Ⓧ 9am-5pm 火曜定休

サッパリ派にはパッションフルーツソーダを、お疲れ派にはホットチョコレートを！ワッフルや焼き菓子も甘さがほどよいのが嬉しい。

Baba Charlie Café



パパチャーリーカフェ

毎日作りたてのクエが種類豊富に並びます。ここのアッサム・ブア・クルアとニョニヤ・ラクサ、オタ・オタは絶品！デザートにタイ・バックも試してみてください。

● No.631, Jalan Siantan Taman Siantan Seksyen 2
Ⓧ 11am-9pm (月~水) 11am-9pm (金~土) 火曜定休

Wild Coriander



ワイルド・コリアンダー

ニョニヤデザートや軽食が充実。「ミー・シナム・ゴレン」は、ピーンをサンバルソースで炒めたもの。ピリッとした辛さと薄焼き卵の相性が抜群！

● 40, Jalan Kampung Pantai Ⓧ 12noon-11pm 水曜定休

Manis J



マニスジェイ

純粋なプラナカンの血筋を継ぐお母さんのレシピを4代目となるこどもたちが継承。酸味がないマイルドな鶏の煮込み「アヤム・ブア・クルア」は、辛い物が苦手な方におススメ。

● 167, Jalan Bunga Raya
Ⓧ 11am-3pm 6pm-9pm 火曜定休

ジョージタウン

ユネスコ世界文化遺産

ジョージタウンってどんなトコ？

マレーシア屈指のリゾート地としても有名なペナン島。そのペナン島の中心地がジョージタウンです。1786年、イギリス東インド会社の総督フランシス・ライトが東南アジア進出の足がかりとしてこの地に上陸。ケダ州のスルタンとイギリス東インド会社との条約により、イギリスの植民地として譲渡されました。ペナン島を「プリンス・オブ・ウェールズ島」と名付け、彼らが居住する地区をジョージタウンと称しました。交易が盛んだった古き時代、多様な文化の融合から生まれたプラナカン、西洋の様式を取り入れたコロニアル建築、マレー、中国、インドそれぞれの文化が育んだ、活気あふれる街並みが、今もなお色濃く残っています。



チュリア通り



Lebuhs Chulia
ジョージタウンの中心を東西に横断するメインストリート。昔ながらの老舗飲食店や商店が軒を連ね、旅行者向けのホテルや安宿、お洒落なカフェやバーも多く集まる賑やかな通り。ジョージタウンの西側を南北に縦断するペナン通りとの交差点から、コムタ方面に続くトラムの線路跡も必見。少し歩いて、生活感溢れるチョウラスタ市場も覗いてみて。

ハーモニー通り



Jalan Masjid Kapitan Keling
マスジッド・カピタン・クリン通りには、白亜のセント・ジョージ教会（キリスト教）、観音寺（仏教）、スリ・マハマリアマン寺院（ヒンズー教）、カピタン・クリン・モスク（イスラム教）、中華系の氏族を祀った霊廟が点在し、どん突きにはアチェ・モスク（イスラム教）が並びます。様々な宗教施設が一堂に会する通り、これが「ハーモニー通り」と呼ばれる所以なのです。

アルメニアン通り



Lebuhs Armenian
19世紀初頭にアルメニア人が居住していたことに由来する通り。洗練された雑貨店やカフェが並び、ジョージタウンを訪れるなら必ず立ち寄りた人気のストリート。ジョージタウンで有名な壁画『Kids on Bicycle』があるのもこの通りです。トライショーが集まったり、貸自転車店などもあり、周辺はいつも多くの観光客で賑わっています。

パンタイ通り (ビーチ・ストリート)



Lebuhs Pantai
ジョージタウンの街づくりは、この通りから始まったと言えるでしょう。100年以上前に建てられた、コロニアル様式の大きなビルが並びます。ジョージタウンの東側を縦断する海に面した通りであることがその名に由来します。現在はオフィス街で、周辺にはカフェやバー、ギャラリーや旅行会社などもたくさんあります。ノスタルジックな街並みを楽しんで。

リトルインディア

Little India
キング通りを中心に、インド系の雑貨店や飲食店、寺院が集まります。一步踏み入れれば、そこはインド。軽快な音楽、お香の香り、色鮮やかな街並みにきっと魅了されるはず。ヒンズー教とイスラム教、2つの宗教とインド系庶民の生活の調和を肌で感じられます。ショッピングや食べ歩きを楽しみましょう！



Jalan Jalan

ジョージタウンを歩く

ジョージタウンを散策すると、マレー系、中国系、インド系が古くから培ってきた独特の文化や、かつてのイギリス統治時代に栄えたコロニアル建築の街並みに出会えます。ジョージタウンを散策するなら立ち寄りしたい、14の名所をご紹介します。

3 シティーホール

City Hall
1903年に現在の形に完成。ペナンで初めて電気と扇風機が備え付けられた建物。1957年、ジョージタウンは市制施行され市庁舎となった。



● Jalan Padang Kota Lama

6 チョン・ファツ・ツイ・マンション

Cheong Fatt Tze Mansion
大富豪のチョン・ファツ・ツイにより、1896～1902年の間に建てられた大邸宅。青い外観から「ブルー・マンション」とも呼ばれる。



● 14, Lebu Leith
☎ * ツアーは 11am/2pm/3:30pm
☎ RM26 (大人) RM13.50 (12歳以下)
* ウェブサイトから要予約。

9 スリ・マハリアマン寺院

Sri Mahariamman
1833年建立。ペナン最古のヒンズー寺院。38体の神々や動物像が彫刻された、南インドスタイルのゴープラム(塔門)が美しい。



● Lebu Queen

12 クー・コンシ

Khoo Kongsi
1851年、中国南部からやってきた邱(クー)一族が建立した一族の霊廟。1901年に火災に見舞われた。その後再建され、現在のクー・コンシは1906年に完成。



● 18, Cannon Square ☎ 9am-5pm ☎ RM10 (大人) RM1 (12歳以下) * 5歳以下無料

1 ビクトリア・メモリアル時計台

Victoria Memorial Clock Tower

イギリス・ハノーヴァー朝第6代女王ビクトリアの即位60周年を記念し、地元の篤志家が1897年に寄贈した。高さ60フィート(約18.3m)。



● Pesara King Edward

4 セントジョージ教会

St. George's Church

1818年12月25日に完成した、東南アジアで最古の英国国教会。インドのチェンナイにあるセントジョージ大聖堂がモデルで、八角形の尖塔が特徴。



● Lebu Farquhar

7 ペナン・プラナカン・マンション

Penang Peranakan Mansion

1893年、大富豪チュン・ケン・クイーによって建てられた大邸宅。現在は博物館となり、豪華絢爛な家具、衣装、装飾品などを展示。



● 29, Church Street
☎ 9:30am-5pm * ツアーは 10am/1pm/4pm
☎ RM20 (大人) RM10 (子ども)

10 カピタン・クリン・モスク

Masjid Kapitan Keling

1801年建立。南インド系ムスリムのカピタン・クリン(インドコミュニティのリーダー)によって建てられたモスク。



● Jalan Masjid Kapitan Keling

13 孫中山記念館

Sun Yat Sen Museum Penang

辛亥革命(1911-1912)のリーダーであった孫中山こと孫文が4か月ほど暮らした家。間口は狭いが奥行きは40m以上もある。



● 120, Lebu Armenian
☎ 9am-5pm (火～土) 1pm-5pm (日) 月曜休館 ☎ RM5 (大人) RM3 (学生)

2 コーンウォリス要塞

Fort Cornwallis

1786年7月17日、フランス・ライトが上陸した地に建てた要塞。マレーシアで現存するイギリス要塞の中では一番大きく古い。



● Jalan Tun Syed Sheh Barakbah
☎ 9am-10pm
☎ 要塞内入場料: RM20 (大人) RM10 (子ども)

5 ローマ・カトリック教会

Church of the Assumption

1786年、フランス・ライトにより設立。1860年に現在の場所に移転。1955年、パチカンにより大聖堂に認定されるが、2003年、教区民が辞退し、教会に戻った。



● Lebu Farquhar

8 観音寺

Guanyin Temple

1800年、福建人と広東人によって建立された、ペナンで一番古い中国寺院。堂内には慈悲の女神、観音菩薩が祀られている。



● 30, Jalan Masjid Kapitan Keling

11 ヤップ・コンシ

Yap Temple

1924年に建立された葉(ヤップ)姓一族の霊廟。珍しくコロニアル調建築で、並ぶ中国寺院チュー・チャイ・キョンもヤップ・コンシの一部。



● 71, Lebu Armenian

14 アチェ・モスク

Masjid Lebu Aceh

1808年、スマトラのアチェ出身の貴族、トゥンク・サイド・フセインによって建てられたペナンで最も古いモスク。八角形のミナレット(塔)が目印。



● Lebu Aceh



A 周一族の橋

Chew Jetty

ペナン島の海の玄関「ウェルド・キー」。ここに19世紀、中国の福建省からペナン島へと渡ってきた中国系移民の子孫の同氏がこの棧橋で暮らしています。高床式の木造家屋に板張りの棧橋。周一族の棧橋は現存するなかで一番長く、飲食店や土産物屋が並び賑やかな棧橋です。

● Chew Jetty, Weld Quay ☎ 9am-9pm



B ザ・トップ・ペナン

The Top

ジョージタウンのランドマーク、コムタのトップフロアにあるテーマパークです。一番の見どころは、地上約250mに位置する展望台「レインボー・スカイウォーク」。レストランバーのほか、屋内遊園地、ペナンの歴史を紐解くギャラリーなどが併設。

● 1, Jalan Penang, Rainbow Skywalk ☎ (シングルエントリー) RM68 (大人) RM48 (90cm以上12歳以下と60歳以上のシニア及び身体障がい者) ☎ 11am-10pm (日～木)、11am-11pm (金・土)、10am-10pm (祝日・スクールホリデー)
🌐 thetop.com.my



C ヒン・バス・デポット

Hin Bus Depot

1947年に建設されたヒン・バス・デポットは、タンジュン・ブンガとテロツ・バハン間を運行する青色のバス=ヒン・バスのオフィスでした。倒産後は廃屋と化していましたが、2014年に再開発。毎週日曜日は、地元のアーティストによるフリーマーケット「ヒン・ポップアップ・マーケット」も。

● 31A, Jalan Gurdwara
☎ 12noon-8pm (月～金) 11am-8pm (土・日)

D ロザナズ・バティック

Rozana's Batik

KLの芸大を卒業後、バティック・アーティストとして活躍するロザナさんが営むスタジオ。下絵のある布に色付けする簡単なバティック体験から、自分でオリジナルのデザインを描く本格派まで、一人ひとりの要望に応じた指導をしてくれます。要予約。

● 81 B, Lebu Aceh ☎ 11:30am-6pm 日曜定休 ☎ RM35 (1時間) RM75 (2時間)
🌐 FB:Rozanasbatik ✉ rozanasbatik@yahoo.com

■ トライショー

Trishaw

1950年代、タクシーやバスが発達する以前、トライショーはジョージタウンの主要交通手段でした。現在は市内観光アトラクションとして、アルメニア通りやペナン通りに待機しています。料金は交渉制で、1時間50リンギ(30分30リンギ)が相場。



■ ウォール・アート&ワイヤー・アート

Wall Art & Wire Art

ジョージタウンはストリートアートの街としても話題となっています。趣があり、すっかり街並みに溶け込んだウォールアートは必見。ペナンの歴史や文化を象ったワイヤー・アート作品は50点以上も。インスタ映え必至です。



アートマップ: www.tourismpenang.net.my/pdf/street-art-brochure.pdf

■ 無料バス

CATを活用!

CATはジョージタウンのコムタ〜ウェルド・キー間を無料で運行するバス。フロントの電光掲示「CAT」が目印です。



ペナン島 郊外を遊ぶ

ジョージタウンからバスやタクシーでちょこっと移動！ ペナン島にはまだまだたくさんのお見どころがあります。マレーシアならではの文化や大自然に触れるチャンスです。ペナン島を思いっきり冒険しましょう！

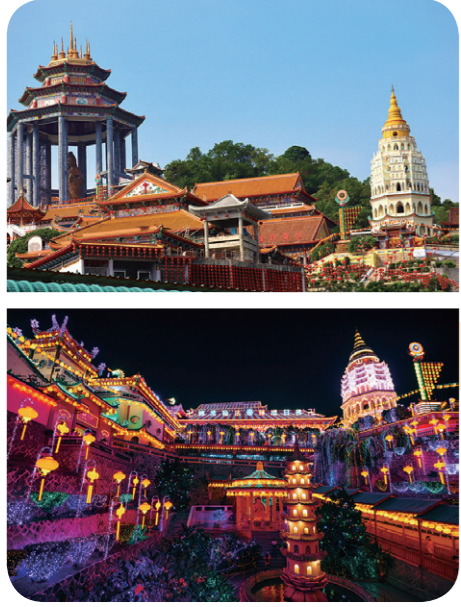


E ペナンヒル

Penang Hill
1700年代に英国人によって避暑地として開拓された丘で、地上833mの頂上へはトラムに乗って上ります。現在のトラムは4代目で1,996mをなんと約15分で駆け上がります。頂上には展望台やカフェがあるほか、エコツーリズム施設である「ハピタット（※別料金）」では、ネイチャートレイルやキャノピーウォーク等、ペナンヒルに広がる世界最古の熱帯雨林も見渡せます。
● Penang Hill Bukit Bendera
④トラム往復料金:RM30 (大人) RM15 (子ども) 運行時間:6:30am-11pm (30分間隔) ハピタット: RM55 (大人) RM35 (子ども) ~

F 極楽寺

Kek Lok Si Temple
東南アジア最大の仏教寺院・極楽寺（ケツ・ロク・シー）は、1891年に菩薩堂が建てられ、それから40年間かけて今の形に完成しました。1930年に完成したグライ・ラマ六世の7層の仏塔（一万体の仏像）は、中国式、タイ式、ビルマ式の建築様式を取り入れ、大乘仏教と上座部仏教の調和を象徴しています。慈悲の女神である30.2mの観音像は、圧倒されるほどの大きさ。高台に建つ極楽寺から望む景色も格別です。また、旧正月期間の絢爛なライトアップは見ごたえあり！ 麓にあるマーケットで食事や買い物も楽しめます。
● Kek Lok Si Temple, Ayer Itam
④7am-9pm ⑤参拝無料（仏塔およびスカイリフトは有料）



G トロピカルスパイスガーデン.....

Tropical Spice Garden
およそ5エーカーに及び園内では、500種類以上の世界各地からやってきた熱帯植物が見られます。動植物の知識に長けたガイドと巡るツアーでは、五感を研ぎ澄ましながら自然と向き合う貴重な体験が得られます。時間を気にせず来園するなら、オーディオツアーも。日本語対応のオーディオを借りて園内を自由に散策できます。さらに時間に余裕があるなら、園内ガイドツアー付きのクッキングクラスを受講してみても？ 実際に生えているハーブやスパイスを使用した、家庭でも実践できる調理法が学べます。
● Lot 595 Mukim 2, Jalan Teluk Bahang
④9AM-6PM
*オーディオツアー
RM31 (大人) RM18 (子ども) RM25 (学生または60歳以上)
*ガイドツアー（英語、所要時間1~1時間半）
時間: 9am/11am/1:30pm
RM48 (大人) RM25 (子ども) RM38 (学生または60歳以上)
*クッキングクラス (9am-1pm または 1:30pm-5:30pm) RM260
*2日前までに要予約 ④ tropicalspicegarden.com



H バトゥフェリンギ

Batu Ferringhi
ペナン随一のビーチ地区。プライベートビーチを備えた高級リゾートホテルからバックパッカー向けの安宿まで多数集まります。飲食店もたくさんあり、毎晩夜市が開催されるなど、多くの観光客で賑わいます。海沿いを歩くとウォーターアクティビティができるビーチや、ひっそりと隠れたように広がる自然豊かな浜辺に出合えたり。自分に合ったリゾートライフを満喫できます。



I クラフト・バティック.....

Craft Batik
観光センターのように見えますが、こちらはれっきとしたバティック工場。伝統的な手法でオリジナルバティックを生産するほか、多くのセレブリティがオーダーメイドに訪れます。工場内の見学は自由なので、バティックの魅力に間近に迫ることができます。バティックワークショップは予約不要で随時受け付けています。店内に並ぶバティック製の衣類、これももちろん一枚一枚手作りの一点もの。あなたのお気に入りが見つかりますよ！
● 651, MK-2 S.W.D Teluk Bahang
④8:30am-5:30pm
⑤バティック体験 RM35 ~



J エントピア.....

Entopia
200種以上の熱帯植物が茂るドーム内「ザ・ネイチャーランド」には、滝、池、洞窟などの美しい自然地形を見事に再現しており、園内には60種1万5,000匹の蝶や昆虫が生息しています。「ザ・コクーン」は2フロアから成る室内展示場で、さまざまなアクティビティを用意。最新技術を駆使した展示は見ごたえ満点です。ガイドツアーや毎日開催されるアクティビティ情報をあらかじめウェブサイトをチェックして訪れるとより楽しめますよ！ お得なファミリーパッケージもあり。
● 830, JALAN TELUK, BAHANG
④9am-6pm ⑤RM65 (大人) RM45 (4-12歳および60歳以上)
⑥ entopia.com

K ペナン国立公園.....

Taman Negara Pulau Pinang
ペナン島の北西に位置するペナン国立公園は、2,522.1ヘクタール、マレー半島では最も小規模な国立公園にも関わらず、低地フタバガキ科林、丘陵フタバガキ科林、マングローブ林、砂浜、部分循環湖という、5種の生息地を保有し、ここに1,000種以上の植物と271種の動物が生息します。道が整備されているので、ハイキングやキャノピーウォーク、バードウォッチングを満喫できます。パンタイ・ケラチャットまで行くとウミガメの保護施設も。ガイドツアーやキャンプの申し込みは、公園入口付近にいる緑のシャツを着た公認ガイドまで。現在、最北端の灯台へのアクセスはボートのみ。入口向かいのツアーデスクで申し込みましょう。
● Jalan Hassan Abbas ④7:30am-6pm
⑤入場無料
キャノピーウォーク RM5 (大人) RM3 (子ども)
*公園事務所に申し込み。
*各種ガイドツアーの掲示価格は1グループのもの。



緑のシャツが目印！ 公認ガイドさん

満腹！ ペナンを食べる

B級グルメ編

ペナンはB級グルメの宝庫です。屋台やフードコートで食べられる10リンギット以下の名物料理をご紹介します。屋台での注文の仕方はとってもシンプル。食べたいものを選んで、テーブルの位置を伝えるだけ。支払いは料理が運ばれた時に。



ナツメグジュース

Nutmeg Juice
ペナン名産品、ナツメグの果実のジュース。絞ったものに中国の梅干しが入った白と、果実を長時間かけて氷砂糖と煮出した赤いものがある。

チャーコイティョ



Char Koay Teow
米粉から作った幅広く平べったい麺（クイティオ）を卵、もやし、ニラ、エビや赤貝に魚の練り物と炒めた焼きそば。卵は鶏卵のほか濃厚な鴨卵バージョンもあり。

ホッケンミー



Hokkien Mee
エビのダシが効いたスープにビーフンと黄色い麺のミックスが定番。ちなみにKLでは「フロンミー」と注文。「福建麺（ホッケンミー）」は、中国の濃口醤油で炒めた焼うどん風のもの。

アッサムラクサ



Assam Laksa
ペナンと言えはアッサムラクサ。米粉からできた太目のもちりつとんとした麺と、タマリンドとトーチジンジャーが爽やかに香るスープ。鯖の風味が後を引く。

フライドオイスター



Fried Oysters
小ぶりの牡蠣をたっぷり、卵でとじて炒めたもの。ペナンの屋台で外せないサイドディッシュです。

ローミー



Loh Mee
ドロッと黒い餡かけ麺。見た目は裏腹にあっさりとした味わいで麺をしっかり和めていただきます。KLのローミーは色が薄く、日本の餡かけうどん風。

ナシカンダ



Nasi Kandar
ペナン発祥のインド系スリムのぶっかけご飯。数あるおかずから好みのものをトッピング。カレーは「パンジル（=つゆだく）」で注文するのが通。

カレーヌードル



Curry Mee
日本でも話題となった「ホワイトカレーヌードル」は、ペナン発。ココナッツミルクが効いたスープに、辛さを調整しながらカレーペーストを溶かします。

チェンドル



Cendol
チェンドルとは、ココナッツミルクと米粉をパンダンリーフで緑色に着色したゼリー状の麺。かき氷、黒蜜のようなグラマラッカ（バームシュガー）、あずき、ココナッツミルクと共に。

ジャウィ・ハウス



Jawi House
ジャウィ・プラナカン4代目、ヌリルシェフが引き継いだ伝統料理。ココナッツミルクのまろやかな風味が特徴的なジャウィ・ラクサ・レマツ、辛さ控えめのザッパリとしたマンゴーサラダ、柔らかく煮込んだビーフ・レンダンの独特のスパイス使いに感嘆。

● 85, Lebuhr Armenian
☎ 11am-9:30pm 火曜定休

上から時計回りに：クレープをチキンカレーと共にいただく Roti Surai, Jawi Laksa Lemak, Beef Rendang、パタフライビーとココナッツミルク、ミツバハマゴウの葉などのハーブと炊いた Lemuni Rice, Kerabu Mangga (マンゴーサラダ)。

モー・テン・ピュー・ニョニヤ・クエ



ココナッツミルクやパンダンリーフ、ココナッツフレークにグラマラッカといった、マレーシアスイーツに欠かすことのできないフレーバーを存分に楽しんで。

Moh Teng Pheow Nyonya Koay

色鮮やかで愛くるしいニョニヤ・クエ。クエとはもち米を使用したデザート。ここでは作り立ての色とりどりのニョニヤ・クエが種類豊富にあります。ニョニヤ料理の軽食もあるので、ランチにもティータイムにもうってつけ。

● Jalan Masjid (off Chulia Street)
☎ 10am-5pm (火~木) 10am-8pm (金~日)
月曜定休

満喫！ ペナンを食べる

レストラン編

古くから交易の中継地点として栄えた街ジョージタウン。独特の食文化が生まれ、今もお継承されています。海を渡ってやって来た貿易商と現地女性から生まれたムスリム系プラナカンをジャウィ・プラナカン (Jawi Peranakan)、中国系プラナカンをババ・ニョニヤ (Baba Nyonya) と呼びます。ペナンで話題のカフェやレストランをご紹介します。

マラヤ



Malaya
イギリス植民地時代からインスパイアを受け、伝統的なインドのスパイス使いとマレーのフレーバーを融合した、独自の料理が楽しめます。ノスタルジック感溢れる店内。まるでタイムスリップしたかのような錯覚を覚えます。

● 153F, Jalan Hutton
☎ 6pm-10:30pm

自家製スモークダックをローカルスパイスで煮込んだ料理。メニューは3ヵ月ごとに変わります。

ウィンズカフェ



Winn's Café
辛いものが苦手な人におすすめできる、マイルドで家庭的なニョニヤ料理のお店。メニューにはない豚肉を使用した料理や裏メニューもあるので、注文時に確認しましょう。さまざまなマレーハーブを混ぜたナシ・クラブがおすすめです。

● 2, Jalan Irawaddi
☎ 11am-3pm, 6pm-10pm 日曜定休

ココナッツミルクとスパイスでマリネした鶏肉をカリッと揚げた Inoh Kabin はとっても柔らかくてジューシー！見た目は辛そうな色合いだが、同店の料理はマイルドで甘めな味付けが特徴。

地元の有名店等が掲載されているペナン州観光局発行のストリートフードガイド：<https://mypenang.gov.my/uploads/downloads/Penang-Street-Food-Brochure-English.pdf>



New Lane
コムタからほど近く、バル通りに夕方から出現する屋台街。
● Lorong Baru
☎ 4pm-midnight
水曜定休



Gurney Drive Hawker Centre
ジョージタウンで最も有名で大規模な屋台街。
● 172, Solok Gurney 1, Pulau Tikus
☎ 4:30pm-midnight
火曜定休



Fisherman's Wharf Food Corner
ジェルトン地区の海に面した屋根付きの屋台街。
● 92A, Lebuhr Sungai Pinang 1
☎ 7:30am-1am



Hot Bowl White Curry Mee
ペナン名物ホワイトカレーミーの専門店。サイドディッシュも充実。
● 58, Jalan Rangoon
☎ 8am-3pm 月曜定休



Hameediyah
1907年創業のナシカンダの人気店。ムルタバツも有名。
● 164, Lebuhr Campbell
☎ 10am-10pm (土~木)
1pm-3pm 閉店 (金)

隠れ家バー アウトオブノーウェア



Out of Nowhere
ペナンでは最近、秘密基地感覚の隠れ家バーが人気。ここは表（カフェ）と裏の（バー）の顔もち、トリッキーな入口が遊び心をくすぐってくれます。店内奥にあるカウンターを陣取って南国感溢れるオリジナルカクテルをどうぞ。
● 75, Jalan Kuala Kangsar 10100 Georgetown
☎ 7pm-1am
*火曜定休、金・土曜は午前2時まで
☎ FB: Out Of Nowhere

カフェのキッチンにある冷蔵庫。ドアを開けるとビックリ！素敵なバーに繋がります。

ル・プチ・フル

Le Petit Four
若きパティシエが腕を振るうベーカリーカフェ。バターが芳醇な香りがたまらない、サクサクのクロワッサンと、食べるのがもったいないほどカワイイケーキはインスタ映え必至。朝食に、ティータイムに立ち寄りたのお店です。
● 310, Lebuhr Pantai
☎ 9am-6pm 水・木定休

Fig Tart はローカル産の小さなイチジクが甘酸っぱくて美味。サククリとしたタルト、イチジクのジャム、プッチッと食感がたのしいワインの粒ゼリー、芳ばしく焼きあがったアーモンドクリームがベストマッチ。



マラッカで買う

マラッカには昔ながらの手工芸品や骨董品など、ノスタルジック感溢れるカワイイものがいっぱいです。



Colour Beads : ビーズシューズ RM249 ~。修理 (有料) や海外郵送サービス (送料自己負担) もあり。

J Manik :
ビーズシューズ RM450 ~。
クバヤ RM1,200 ~。



Red Handicrafts :
切り絵は小さいものなら RM10 ~。
ショッピングバッグ RM58。



Mamee Jonker House : ショッピングバッグ RM27、ポーチ RM15、エプロン (こども用) RM24.50。



Tak Hin Company : バスケット各種 RM45 ~。



San Shu Gong : パームシュガー RM18.90、南瓜の種のクッキー RM9.90、フリーズドライジャックフルーツ RM11.80、携帯用ココナッツオイル (30ml) RM8.90。



Shop Howard : ペナンの古いタイル模様のコースターセット RM75。小麦粉袋をリメイクしたポーチ RM28、バッグ RM95。



Spice Garden : スパイス各種 RM11.30。石鹸各種 RM15.10 ~。シトロネラの蚊取り線香 RM15。



Nala Biloba : バッグ RM189。
ブラウス RM329。



ペナンで買う

ペナンで出会ったかわいくてお手頃なお土産品をご紹介します。旅の思い出に、日本で待っている家族や友だちを楽しい気分をおすすめ分け。



Emporium : E&O 創設者のアルメニア人兄弟の口髭マグカップセット RM88。



Ghee Hiang : 白インゲンのパイ RM9.50。ゴマ油 (150ml) RM8.50。ゴマ油 (30包入り) RM6.60。



Cheng Woh : パクテーの素 RM12。フラワーティー各種 RM10 ~。



Colour beads

百年以上製靴業に携わる一族が手掛ける、「履き心地」にこだわったお手頃価格のビーズシューズショップ。
● 84, Jalan Tun Tan Cheong Lock
🕒 9am-7pm 9am-6:30pm (土・日)



Red Handicrafts

中国伝統の切り絵やお土産品を販売。写真からオーダーメイドの切り絵の作成もしてくれます。切り絵がモチーフのTシャツも。
● 30c, Jalan Hang Kasturi
🕒 10am-6pm 不定休



Mamee Jonker House

マレーシアで人気のインスタントラーメンのギフトショップ。
● 46 & 48, Jalan Hang Jebat
🕒 10am-5pm (月~木)
10am-7pm (金~土)



J Manik

正統なブラナカン家庭に育ったオーナー自らが厳選したビーズシューズやクバヤなど、上質のファッションを提供。
● 23, Jalan Hang Lekir
🕒 11am-7pm



Tak Hin Company

ブラナカンの結婚式や祝い事で使用されたバスケットをサイズ豊富に販売。小さなものなら小物入れにも便利。
● 72 kampung Pantai
🕒 8am-6pm



San Shu Gong

お菓子からインスタント食品まで。ありとあらゆるマラッカ産のお土産が一堂に集う、ワンストップセンター。
● 33, Jalan Hang Jebat
🕒 9:30am-10pm



Ghee Hiang

1856年創業。ペナン名物の豆沙餅(タウサーピア)とゴマ油の老舗。
● 216, Jalan Macalister, George Town
🕒 9am-9pm



Emporium

E&O ホテル内のギフトショップ。ペナンで活躍するアーティストの作品やペナンに関する文献が充実。
● Eastern & Oriental Hotel, 10 Lebuhr Farquhar
🕒 9am-9pm



Shop Howard

ペナン出身の写真家がオーナーのセレクトショップ。店内にはペナン出身のアーティストの作品がいっぱい。
● 154, Jalan Masjid Kapitan Keling
🕒 10am-6pm (水曜日は 12noon ~)



Cheng Woh

1891年創業。中国の漢方やお茶、フラワーティーなどをきれいにパック分けして販売。ドライフルーツやスナック類も。
● 164B-C, Lebuhr Campbell
🕒 9am-6:30pm 日曜定休



Nala Biloba

ブラナカントイル、クエなどの伝統菓子、熱帯植物をモチーフとしたデザインが人気。女心をくすぐるアイテムがいっぱい。
● 93 Armenian Street
🕒 10am-6pm



Spice Garden

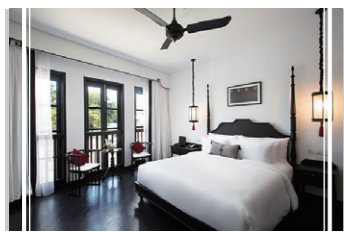
スパイスガーデン併設のギフトショップ。買い物みの利用可。ハーブの精油や品質のいいスパイスが揃う。
● Lot 595 Mukim 2, Jalan Teluk Bahang
🕒 9am-6pm

マラッカに泊まる

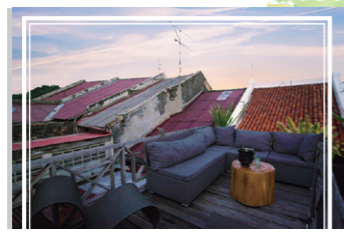
マラッカ観光の中心地、オランダ広場やジョンカーastreet付近の宿泊施設は、こぢんまりとしたブティックホテルやゲストハウスが多く、少し離れた市街地には大型シティホテルが多くあります。自分にあった快適さを重視したホテル選びをお勧めします。

ブティックホテル

ジョンカーastreet周辺にあるブティックホテルは、プラナカン風のインテリアを基調とし、客室数が少なく静かにのんびりと過ごせるのが特徴。古いショップハウスをリノベーションした宿のタイプはバラエティ豊かで、ユニークなステイを体験できます。



古いショップハウスをホテルに改装。東洋と西洋が調和したインテリアの Liu Men。



Opposite Place、45 Lekiu、The Stable は、ショップハウスをリノベーションしたデザイナーズ・イン。



シティホテル

高層ビルディングタイプは、屋上にオープンエアで夜景が堪能できるバーやプール、ジムやファンクションルームといった設備が充実。観光だけでなくビジネスにも便利です。宿泊者以外も利用できるホテル内のレストランやバーの価格がリーズナブルなものもマラッカならではの。

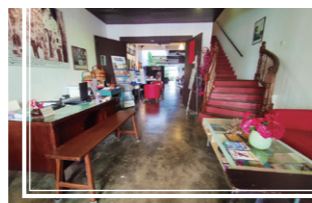
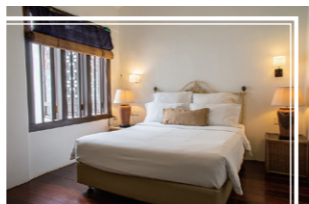


1920年代に建てられた邸宅をホテルに。イギリス植民地時代のコロニアル調の部屋が贅沢な Majestic Hotel。



ゲストハウス

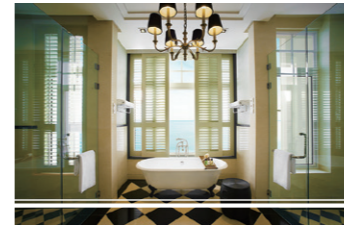
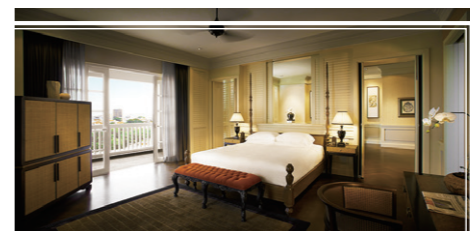
ジョンカーastreet周辺に多いバックパッカー向けの安宿以外にも、ブティックホテルと安宿の間ぐらいの価格でステイできるゲストハウスが多くあります。「ホテル」に比べるとサービスや設備は劣りますが、地元の人や旅人同士での交流が楽しめます。



手ごろな値段で快適に過ごせる Wayfarer Guest House は、ゴム農園を経営する会社のオフィスの跡地を利用したアットホームなゲストハウス。

シティホテル

ジョージタウンの観光に便利な市街中心地に位置するホテルは、高層で客室数も多く、プール、ジム、ビジネスセンターや宴会場などの施設が充実しています。海を臨むインフィニティープールがあったり、夜景を楽しめるバーがあったりと、シティライフを満喫できます。



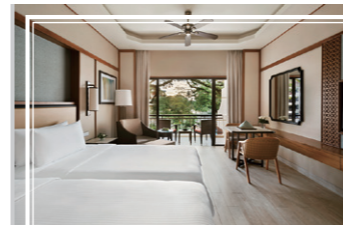
1885年創業の Eastern & Oriental Hotel は全室スイート。チャップリンやキップリング等著名人も宿泊したことがある。

ブティックホテル

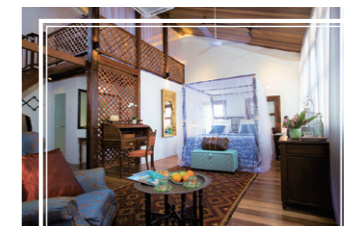
古いショップハウスや邸宅を改装したブティックホテル。オシャレな家具を備えた客室は、部屋ごとにデザインが違ったり、外観からはホテルだとは見分けにくい「隠れ家」のようなところもあります。デザイン重視のため、設備やアメニティは大型ホテルに劣ることもあります。

リゾートホテル

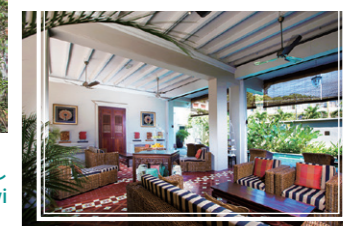
ビーチ地区、パトゥ・フェリングやタンジュン・ブンガには、高層大型ホテルから低層でマレーシアの大自然を生かしたホテル、プライベートビーチを備えた南国リゾート感満載のホテル、パラセーリングやバナナボートといったマリニアクティビティが楽しめるホテルもあります。



伝統的なミナカバウ建築様式のホテル棟、青い海と緑の木々に調和したプールなどの設備が整う Shangri-La's Rasa Sayang Resort & Spa。



インド系ムスリムとアジアが融合したオリエンタル情緒を醸し出す Jawi Peranakan Mansion。



ババ・ニョニャプラナカンの豪華な部屋を再現した Seven Terraces。



ACCESS



車で → マレーシアの首都クアラルンプール国際空港 (KLIA) から約 1 時間 30 分、クアラルンプール市内からは約 2 時間。隣国シンガポールからは約 4 時間。



バスで → クアラルンプール市内の TBS バスステーションから所要約 2 時間。さまざまな会社が運行しており、バスのグレードによって値段は異なる。



空路で → 首都クアラルンプールからペナンまで約 45 分、日本からはクアラルンプール乗り継ぎで直接入れる。ペナン国際空港からジョージタウンへは車で 35 分。



鉄道で → クアラルンプールからパタワースまで ETS で約 4 時間、パタワースからジョージタウンへは 24 時間フェリーで約 20 分、あるいは車でペナン大橋を渡り約 40 分。

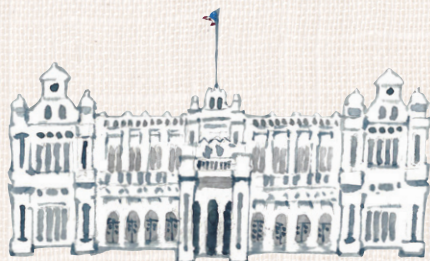
ACCESS



マラッカ&ジョージタウン

世界文化遺産の 二都ヒストリー

2008年7月7日、マラッカとジョージタウンは、マラッカ海峡の歴史的都市群としてユネスコ世界文化遺産に登録されました。東西交易の重要港として600年以上の歴史を誇るマラッカと、18世紀よりイギリスの海洋貿易の拠点として発達したジョージタウン。ともにコロニアル時代の建物をはじめ東西文化が融合したユニークな建築群が数多く残されています。こうした建築物以外にも、マレー、中国、インド、ヨーロッパなど複数の民族からなるマルチカルチュラルな歴史文化が評価され、ユネスコ世界文化遺産に登録されたのです。



Malaysia
Truly Asia

- 14世紀後半 スマトラ島の王子パラメスワラがマラッカ王国を建国。以後、マラッカは海洋貿易の中継地としてインドやアラブ商人が寄港する
- 1394年 室町幕府の将軍足利義満が太政大臣となる
- 1405年 明（中国）の大船団がマラッカに初寄港。明との貿易も活発化
- 15世紀初頭 マラッカ国王がイスラム教に改宗
- 1467年 応仁の乱により戦国時代が始まる
- 1511年 ポルトガルがマラッカを攻略、サンチャゴ砦を築く。マラッカ国王はジョホールにへ逃げジョホール王国を建設
- 1543年 ポルトガル人が種子島に漂着し、日本に鉄砲を伝える
- 1547年 宣教師フランシスコ・ザビエルがマラッカでヤジロウと出会う
- 1549年 ヤジロウはじめ3人の日本人とともにザビエルが鹿児島に上陸
- 1552年 ザビエルは中国の上川島で死去、遺体はマラッカのセント・ポール教会に安置された後、インドのゴアに移された
- 1603年 徳川家康が江戸幕府を開く
- 1641年 オランダ東インド会社がマラッカを占拠。江戸幕府がオランダ人を長崎の出島に移し、実質的な鎖国を開始
- 1786年 フランシス・ライトによってペナン島がイギリス東インド会社の占領地であることを宣言。島を次期国王の名を冠したプリンス・オブ・ウェールズ島と命名し、居住地をジョージタウンと名付けた
- 1794年 フランシス・ライト死去
- 1824年 英蘭条約によりマラッカがイギリスに譲渡される
- 1868年 明治維新
- 1910年 孫文一家がジョージタウンのアルメニア通りに滞在する
- 1912年 大正天皇即位
- 1926年 昭和天皇即位
- 1941年 太平洋戦争下、日本軍がマレー半島に上陸
- 1945年 太平洋戦争終結とともにマレー半島がイギリスに戻される
- 1948年 マラヤ連邦成立
- 1957年 マレーシアがイギリスから独立



マレーシア政府観光局

東京支局 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-6-4 千代田ビル 5階 TEL.03-3501-8691/FAX.03-3501-8692
 大阪支局 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-2 コットンニッセイビル 10階 TEL.06-6444-1220/FAX.06-6444-1380
<http://www.tourismmalaysia.or.jp/>

発行：2020年5月 ※この情報は2020年4月の情報です。